



西紀っこだより

令和2年度 第18号(2月号) 令和3年2月5日発行

丹波篠山市立西紀小学校 丹波篠山市乗竹650

TEL 593-0024 FAX 593-0249

ホームページ <http://nishiki-el.sasayama.jp/>



緊急事態宣言延長ですが〰〰〰

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「緊急事態宣言」が延長になりました。今度は状況が改善したら解除は前倒しです。感染者数も日に日に減少傾向に見えますが、丹波地域には、まだ感染者の報道があるので油断せずに学校生活を進めています。

とはいえ、引き締めばかりでは息苦しい毎日…児童会役員は感染に気がつけた「小人数・分散型」の楽しい集会「VS西紀」を考えました。2月1日の朝、教室の一人一人の机の上にチラシを置くサプライズと終会での呼びかけもしてくれました。

チラシをもらった日から、子ども達はその日を楽しみに感染防止に取り組んでいます。児童会は素晴らしい感染防止対策を講じてくれました。

保健室前には、「健康おみくじ」があります。

これは、消毒してからおみくじをひくと「大吉」などが出て、さらにその「大吉」のケースから今日の運勢をひく仕掛けです。

はじめは養護教諭の大西先生が作った運勢の言葉でしたが、後半はその運勢の言葉を子ども達に募集しました。子ども達の価値観や思いがうかがえて楽しいです。例えば…

【大大吉：自分が好きと言え、その人も好きと言うかも】

【吉：いつもとっしょのように過ごせるよ】

【凶：犬のしっぽをふんじょうかも】

【凶：今日はゲームのしすぎで親に怒られるかもしれないよ。ゲームを20分にしよう！】

コロナ禍の苦境にあっても、生き生きと伸びようとする西紀っ子の命のエネルギーはすばらしいと感じ、改めてこの子ども達を大切に育てる責務を思います。地域・保護者の皆様には、今年度子ども達が学校でがんばっている姿を見ていただくことが叶わず、残念です。2月号は一端を紹介します。



腰骨ぴん！の2年生の学習の様子です。換気するため窓を開けると暖房していても寒いので、ジャンパーやダウンジャケットを着たまま勉強しています。

かけ算の学習で「九九」を覚えたので、かけ算を使った問題を考えています。「 3×5 、 5×3 、どっちかな？」「お皿に3個ずつだんごがあって、お皿が5枚だから…」と考え、時には友達と教えあいながら解いています。

1年生は習った漢字80字の読み方を考えて「漢字クイズ」を作っています。ふつうコースは「雨の日(あめのひ)」のようなふつうの読み方。おもしろいコースは「二十日(はつか)」のような特別な読み方。スペシャル問題は今まで習った読み方を組み合わせた「早足(はやあし)」のような言葉です。さっそく紙をとってきて、スペシャル問題「左右(さゆう)」を作っていた子がいましたよ。

書いたり読んだりできることも大切ですが、使えることが一番大切。

問題づくりを通して、読み方だけでなく使い方も練習しています。さて、私だったらどんな問題を作るかなあ…



この前からPCルームでがんばっていた4年生は、都道府県3ヒントクイズを作っていました。

インターネットで県の名前から有名人、特産物、名所などを検索し、3つのヒント画像を組み合わせて問題画面を作成しています。

必要な情報を検索したり、画像を利用して問題画面を作ったり…と、情報を収集して活用する力がよく育っています。

そして何より、県名や特産をよく覚えています！

「さあ覚えましょう！」と暗記するより楽しいですね。



3年生の音楽「おかしな好きな魔法使い」の「魔法の音」発表会です。歌やリコーダーの演奏が、飛沫の飛散で感染拡大になるかも…と気になります。そこで窓を開け、間隔を空け、マスクをしたままで学習しています。

でも、曲を聴いてイメージをふくらませたり、打楽器を使って創作したりは自由にできます！3人ずつのグループになって色々な楽器を使って、不思議な魔法の音を工夫し、楽しい演奏をしました♪



6年生は4月の入学を控えて、西紀中学校から教頭先生と1年生を担当されている先生が「出前授業」に来られました。

11月の入学説明会でも聞いてはいましたが、やはり教頭先生が今来てくださると、具体的な質問がたくさんでした。

髪型、忘れ物、遅刻、部活、宿題、休み時間…2ヵ月後の自分の生活がどうなるか…心配もあるようです。

「給食はお減らししてもらえますか？」の質問に、「中学校では大盛札と小盛札があって…」とお返事をもらってにっこりしたり「でも好き嫌いはダメですよ」にがっかりしたりの6年生でした。



来年度の児童会選挙も始まった中、5年生は「6年生を送る会」の計画を立て始めました。

6年生を送る会を成功させるとはどういうことか、ぼんやりとしていたイメージを、過去の児童会役員が作ってきた「6年生を送る会」の計画の記録をたどりながら考えていきます。

「毎年同じ事をしている訳じゃない…」「6年生は喜んでくれるかな?」「感染予防は大丈夫?」いつもの年よりも余分に考えることがあります。情報を収集し、整理し、さらに必要な情報も得ながら、プロジェクトとして進める姿はとても頼もしいです。無事に開催できますように…



